JAC北九だより NO.42

(平成20年第4号)

社団法人 日本山岳会 北九州支部 Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局: 北九州市門司区新原町12-27

関 口 興 洋 方

TEL·FAX 自宅 093-382-6436 携帯 090-8919-6776

発行人:大庭常生

編集人:関口興洋・伊藤久次郎

福智山、貫山など3コースを歩く第24回全国支部懇の詳細本決まり

全国の支部から問い合わせが相次いでいる、北九州支部主管の第24回全国支部懇の詳細な実施要領が、次のとおり決まりました。この要領をもとに、現在委員の間で準備を進めていますが、実施に当たっては、支部会員全員の参加が必要ですので、ご協力よろしくお願いします。

と き:平成20年10月11日(土)~12日(日)

ところ:「ホテル ニュータガワ」

北九州市小倉北区古船場3-46 (TEL:093-521-7000)

日 程:10月11日(土)

・ 受 付:13:00~14:30

・ 懇談会:15:00~17:30 会場 2F 「華 栄」

記念講演 「松本清張と小倉」

アトラクション 小倉祇園太鼓

講師 梅光学院大学 小林慎 也 教授

・ 懇親会: 18:00~20:00 会場 3 F 「月 華」

10月12日(日)

記念登山(貸切りバス利用)

- (A) コース 北九州の最高峰、福智山(901m)登山 所要時間:約7時間(ホテル~小倉駅)、小倉駅で解散(16:00頃)
- (B) コース 国の天然記念物のカルスト地形、平尾台~貫山(700m)登山 所要時間:約7時間(ホテル~小倉駅)、小倉駅で解散(16:00頃)
- (C) コース 関門の歴史散策

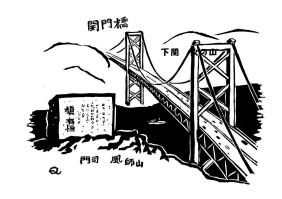
下関市長府の旧城下町〜功山寺(舎利殿は国宝、高杉晋作挙兵の地)〜 赤間神宮(祭神、安徳天皇)〜火の山(268m)〜壇ノ浦(源平合戦の地)〜 ・・・(関門トンネル人道経由)・・・和布刈〜風師山(362m、槙 有恒元会長の 歌碑見学)

所要時間:約7時間、小倉駅で解散(16:00頃)

参加費(1)20,000円 (内訳:懇親会費、宿泊費、記念行事参加費、記念品代、弁当代等)

(注) 宿泊希望者が多く、ホテルニュータガワの宿泊枠をオーバーするときは、<u>宿泊の</u> <u>み</u>近隣のホテルの場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

(その場合は参加費の調整をいたします。)



(2) 懇親会、記念行事参加の場合 9,000円

(3) 懇親会のみ出席する場合 6,000円

(4) 記念行事のみ参加の場合 3,000円

定 員:会場の都合により先着200人まで

参加申込み:支部事務局へ

申込み期限:平成20年8月20日

支部事務局:〒800-0053 北九州市門司区新原町12-27、関口 興洋方 TEL/FAX:093-382-6436, Eメール: sekikoyo@sage.ocn.ne.jp

小倉までの交通アクセス

<空路> (1) 北九州空港への直行便は、東京からのみ1日15便運行。 空港から小倉駅バスセンターへ、到着便に合わせ 連絡バスが運行されている。

乗車時間35~40分、料金600円

(2) 福岡空港へは、全国各地から就航している。

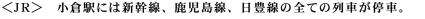
福岡空港~小倉駅までの連絡ルート:

- (a) 福岡空港〜小倉駅バスセンター 直通バス (ほぼ30分ごと) 所要時間 約1時間半、料金1,200円
- (b) 福岡空港から地下鉄で博多駅まで5分、料金250円 博多駅~小倉駅(A)新幹線利用の場合17~20分

(全列車が小倉駅停車) 料金:2,050円 (自由席)

(B) 鹿児島線特急利用の場合40~50分

料金:1,750円 (自由席)



関西方面からは新幹線「のぞみ」より、新大阪発の「ひかりレールスター」がおすすめ。 座席が両サイドとも2人がけで快適。

<海路> 大阪、神戸~新門司間に夜行便の大型フェリーが就航。12時間、料金6,700円~

- (1) 名門大洋フェリー (大阪南港〜新門司、毎日2便)
- (2) 阪九フェリー (泉大津~新門司、毎日2便)

(神戸六甲アイランド~新門司、毎日1便)

到着時刻に合わせ、無料の専用送迎バスが小倉駅(北口)まで運行されている。

<陸路> 自家用車、レンタマイクロバスなどでお越しの場合、駐車場手配の必要がありますので、 車種、台数をご連絡下さい。

小倉駅~「ホテル ニュータガワ」までの交通アクセス

- (1) 小倉駅3F (新幹線、在来線の改札口フロアー)よりモノレールで2つ目の「旦過 (たんが)」まで3分 (10分おきに運行)、料金100円、旦過駅より徒歩2~3分。
- (2) 小倉駅(南口、バスセンターそば)からタクシーを利用した場合、5分程度、料金650円。

<ご案内> 10月11日(土)は、小倉駅バスセンター、新幹線改札口、モノレール小倉駅改札口、 モノレール旦過駅改札口に北九州支部会員が待機し、ご案内係をします。

以上



JR小倉駅南口前の祇園太鼓像

平成20年5月17日

全会員を対象に支部化検討中

全国支部長会議報告

No.13465 大楠 益 弘

(新支部長の紹介)

福 島一大 谷 亩 富 山—山田 信明 石 川一中川 博人 北海道一滝 本 幸 夫 福岡一副島勝人

(事務局より)

- 1、支部長の就任は、本部理事会の承認を要するが、申 請が必ずしも実施されていないので注意していただき たい (第9条)
- 2、総会(各支部)の報告は、第13条により5月10日までに会 長に報告することになっているが、その日までに報告があっ たのは、北九州と宮崎の2支部のみで、報告は怠りなくお 願いしたい。
- 3、事務局把握分と支部資料の会員数には差異のある支部が 多い。もう一度細密な点検を行っていただきたい。人数の 合致している支部は北九州、茨城、山梨、福井、山陰、熊 本、宮崎の7支部のみ。
- 4、支部助成金は会員一人当たり1,000円増額する。6月と年 度末に精算するので、会費納入の遅れた分は年度末まで精 算できないこととなる。(終身会員は対象とならず、永年会 員も対象外。)

(財務委員会より)

1、会費徴収率は97.7%を達成、34万円増となった。保有資 産を8,500万円減価償却した。資産評価額は少ないほど財 務運用はやり易い。

100周年事業では、37万2,000円の剰余金が発生したが とりあえず次月へ繰り越した。

- 2、助成金1,000円増額は、暫定措置であるが、地域、支部 活性化資金として活用していただきたい。既存の2,500円も 含め使途明細は年度末までに提出していただきたい。
- 3、会員数は3月末で5,470人(前年度比△73人)物故者49 人、退会137人、除籍44人となった。今年度除籍対象者は 101人であり、既に2回注意連絡をしている。(当支部は1人)

(副会長より)

1、全会員を対象とした支部化を検討中である。現在支部所属 会員は2,921人、無所属2,514人となっている。その内訳は 神奈川、埼玉、群馬は600人。多摩地区は455人。都区部 は1,140人。

(各支部報告)

支部組織の見直しを行っている。事業のあるべ 【北海道】 き姿を確立してゆきたい。

高山植物パトロールを実施する計画。

- 白神山地体験林業を実施している。 【青 森】 7月6日(日)ウエストン祭を行う。
- 【秋 田】 2021年支部設立20周年記念事業計画中。
- 会員平均年齢66歳。 【山形】
- 【宮 城】 支部設立50周年記念事業10月18~19日実施、 限定100人(参加者)。
- 【福島】 登山道整備、再開発計画。
- 【栃 木】 会員数38人。(新支部)
- 会員数24人。(新支部) 【茨 城】
- 【千 葉】 会員数106人。(新支部)
- グリーンパトロール実施中。 【信 濃】
- 【山 梨】 7月12日第4回山の博覧会計画(600人対象)。 11月15日、60周年記念事業式典。16日記念山行。
- 【静 岡】 会友5人、初心者登山教室、高山植物保護活動 実施、支部連絡網整備計画。
- 【東海】 会員数26人、会友500人、熱帯雨林研究実施。 中日新聞から登山ガイドブック発刊。
- 【岐 阜】 森づくり事業推進中。森林パトロール実施。
- 【京都】 台湾訪問。
- 【富山】 登山道整備事業実施。
- 【石 川】 支部設立記念事業として7月24日~8月22日 インドヒマラヤ遠征。マリ山群マーン峰 (6342m) 初登頂。
- 【関 西】 四国分水嶺踏査継続。ブナを植える会実施。
- 【山 陰】 21年支部設立60周年記念事業準備中。
- 【広 島】 支部設立10周年記念事業として四川省遠征計画中。
- 【福 岡】 支部設立50周年記念として、カンリガルボ山群 の踏査実施。
- 【北九州】 10月の全国支部懇、北九州開催について。
- 【東九州】 韓国山岳会ウルサン支部との交流登山実施。韓 国旅行者の九重グループ登山が増え、ゴミ投棄が 問題となっている。
- 【宮 崎】 ローカル新聞を通じて支部のPR実施する計画。 会員増強:会員1人につき1人以上の勧誘実施計 画。2010年の支部設立25周年記念事業準備中。

指導は遠回りでも、心のふれあいが大切

小中高校生などの登山教育で、英彦山青年の家講師つとめる

No.5306 園 川 陽 造

園川陽造会員の主な経歴

1 昭和45年 環境省公認 自然公園指導員

2 昭和55年 日本山岳協会公認 主 任 検 定 員 3 同 同 中 央 審 判 員

4 平成14年 日本体育協会公認 山岳上級コーチ

 4 十成 | 4 中 日本体目協会公認 田舎工級コーテ

 5 同 同 山岳マスター指導員

6 平成19年 日本山岳協会公認 自然保護指導員

私が登山にかかわるようなったのは、小学校5年生(11歳)のころ、修学旅行で阿蘇中岳に登ったことに始まる。

そのころ国語の教科書のエドワード・ウィンパー(マッターホルン登頂者)物語に、深い感動を受け、山の魅力 にとりつかれる。

中学時代は九州一円に先人の足跡をたどり、高校時代は登山部を設立し、積雪期の山へと行動範囲を広げていった。 そのころ日本山岳会ではマナスル(8,125m)遠征をし、戦後初めて日本隊(隊長:槇 有恒)が8,000m峰に立つことができた。

大学山岳部では北海道の大雪山から南は屋久島まで、海外登山を意識して氷雪の富士山、北アルプス槍ガ岳、穂高岳、劔岳など、シーズンごとの合宿を繰り返した。卒業後は、OB会で政情不安な厳冬期の韓国「智異山」遠征(昭和42年)を皮切りに、海外登山を予測した活動を展開する。

昭和32年から国体山岳競技に選手として、第24回長崎 国体には監督で参加し、それ以降は福岡県山岳連盟の理 事として国体山岳競技に携わる。

日本山岳会に昭和36年入会。当時、九州管内には福岡 支部だけであった。

英彦山青年の家が主催する事業に、講師として依頼を受けたきっかけは、昭和49年「全日本高校総合体育大会」で、犬ガ岳〜英彦山までのA隊講師(青森・群馬・新潟・岩手・鳥取・東京など)を勤めたことに始まる。

高校総体後、「英彦山青年の家」主催の夏季青少年キャンプ・企業社員教育・登山指導など、昭和50年~63年までかかわった。

平成元年からは「第45回とびうめ国体」山岳競技専門員として、前原町に新日本製鐵(株)から派遣され国体事業に専念したので、英彦山青年の家事業からは一時

遠ざかっていた。

国体終了後の平成3年から15年まで前原市教育委員会に 在籍し、スポーツクライミングなどアウトドアスポーツを担 当した。

平成8年から17年は、朝日カルチャーセンターで登山講師を勤めたが、現在は受講生減少のため一時中断している。その中断の平成18年から山開きに並行した、英彦山青年の家主催事業「春・秋、山岳トレッキング・夏季キャンプ講師」の依頼を受け現状に至っている。

英彦山青年の家には、春と秋は1泊2日で、夏季は3日から5日間くらい泊まり込みで滞在する。その間、小、中、高校生から一般企業の会社員、さらには看護学校の生徒とか子供会など、いろんな団体がやってくる。これらの団体は、多いときは150人から200人で、2泊から3泊が多く、キャンプや登山、史跡巡りトレッキングなど、団体によってさまざまで、主に案内と登山技術などの講義を担当している。講義の内容は、その団体の要求で登山の心得や用具の使い方、地図の見方、水の飲み方、疲労防止など一般的なことを教えている。

また時には、自閉症の少年たちのキャンプを手伝ったが、 この時、苦労したのは、子供が夜中にいなくなったり、出 歩いたりすることで青年の家やキャンプ場では騒ぎになっ たことも、

さらに困ったことは、子供会などで、予定外の指導依頼 をされたりする時なども。高校生などは野外活動のため気 が緩み、風紀を乱す者もいたが、指導はよく聞いてくれた ように思う。

厳しく指導したり、注意した子や突っ張っていた子も、最 後に礼を言って帰る時などはうれしく、やりがいを感じる。

やはり、指導や教育は遠回りであっても、心のふれあいが大切であることを体験した。

その後、当時指導した少年たちが40歳~60歳の成人になり、山岳地などで遭遇する時などは、講師冥利(みょうり)に尽きるものである。

現在縁あって日本山岳会北九州支部に在籍しているので、日本山岳協会・福岡県山岳連盟での経験を生かし、安全安心の登山教育に微力ながらつとめたいと思っている。

「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」が設立される

No.13499 伊藤久次郎

山のトイレやごみなどの環境問題を考える福岡協議会の設立総会が6月22日、太宰府市の太宰府館で開かれた。同市と筑紫野市境にある宝満山(829m)の山頂付近にあるトイレを、環境対応型のバイオトイレに改修する計画を進めている西鉄山友会など県内の山岳関係7団体と、宝満山のふもとにある竈門神社、個人有志ら約100人が参加して結成された。会長に県山岳連盟の山上司理事長を選出。事務局は宝満山登山口にある九州登山情報センターにおくことが決まった。運営委員12人の中にJAC福岡支部支部長の副島勝人氏も選ばれた。

質疑応答では、北九州支部の日向会員から「この協議会は、宝満山にバイオトイレを作ることが中心になって組織されたのか。また、組織は運営委員会だけなのか。総会の議決事項は、3分の2の賛成となっているが、団体の場合はどのようにあつかうのか・・・」など、質問が矢継ぎ早になされた。

記念講演は、岩手県自然保護団体協議会代表の永田京 子氏が、「早池峰山のゴミ、トイレ問題16年間の取り組み とこれからの活動」を講演。「早池峰山では、子どもたちも 参山レの下しる姿感び帯が加頂の担ろて。がを、ト普してそがを、イ及てイ物ぎをいの共呼携レし



「早池峰山のゴミ、トイレ問題16年間の取り組みとこれからの活動」を講演する岩手県自然保護団体協議会代表の永田京子氏

ている。山の環境保全には携帯トイレの使用・持ち帰りが 一番」と呼びかけた。

この日北九州支部からの参加者は、

大庭常生 日向祥剛、原 広美、板倉健一、 伊藤久次郎、高畠拓生、関口興洋、山田武史、 大木康子 以上9人。

6月 月例山行報告

第62回 ウェストン祭参加

乗鞍登山が 飛騨高山観光に変身

No.13986 室 津 健 次

5月30日、のぞみ12号に乗車の6人 衆、乗鞍登山とウエストン祭参加だ。「明 日の予報は雨。雲の動きも怪しい。」

第57回ウエストン祭に参加の時、台風が接近中だった。時折車窓をたたく雨を気にしながら、話も弾んだ。台風一過の蝶ガ岳からの素敵な眺望が頭をよぎる。

名古屋、松本、新島々経由で着いた民宿「ひらゆの森」は、広大な敷地に7個の露天風呂がそろった豪華な宿。

31日激しい雨音で目覚める、小降りになるが、落石による道路損壊で乗鞍ラインバスが不通とわかり、朝食後、バスの運行を祈りつつ「白猿伝説」のある平湯大滝(落差64m幅6m)を散策。小雨に煙る新緑は一段と映え美しい。9時過ぎ午前中に運行のめどはな

いという。登山出発地の畳平に行けない。道路サイドの雪の壁、晴れなら遠く南アルプスの山並みや、八ガ岳の大パノラマを眺め、行く先に大雪渓を抱いた剣ガ峰が姿を見せてくれる筈だったが。乗鞍岳が飛騨高山に変身した。

飛騨高山は、6代(107年間)にわたって統治していた金森氏を出羽国上山(山形県上山市)に移封し、江戸幕府の直轄の政務が行われた歴史ある町。まずは高山昭和館に入場、昭和30年代の生活文化を懐かしみ、桜山八幡宮に参拝、高山祭屋台会館に入館した。 江戸時代後期に大輪の牡丹のように花開いたという高山祭の屋台は23台残存で、会館には4台ずつ交代で公開されている。享保年間の創建で布袋の操り人形を主題とした布袋台が見事。均衡のとれた優雅な外形と細部に

至る気配り、木工、塗、彫刻・・と、 さすが飛騨の匠の技と心のたま物と 感激。附設館には15年の歳月と33人 の技術者により制作された日光東照宮 模型(10分の1)が展示されていた。

食後は旧町並みを徘徊し、昭和44年から平成8年3月まで3次にわたり約20億円を費やして、御役所・郡代役宅・御蔵を併せ復元したといわれる全国に唯一現存の郡代・代官所「高山陣屋」を訪れた。

翌朝快晴。中湯温泉の露天風呂から凛とした穂高の峰を眺め、洞窟風呂「ト伝の湯」に浸かり、身を清め、第62回上高地ウエストン祭に向かった。

今回不測の事態で剣が峰は踏めなかったが、歴史ある飛騨高山のゆったり観光と名湯三昧でリフレシュ出来た2泊3日のツアーだった。

参加者は

藤田 傳 関口興洋 伊藤久次郎 高畠拓生 池田暁彦 室津健次

山行記 門司山歩会と九重交流登山

韓国からの登山客と出会う

No.13520 西 村 信 子

〈コースタイム〉

大曲星生山登山口10:40→星生山 12:27~13:07→肥前ヶ城13:55→沓 掛山15:10→牧ノ戸峠15:30

〈北九州支部よりの参加者〉

13465 大楠益弘、 13520 西村信子 13532 馬場基介、 13810 西村俊二 14498 大木康子、北九369 末次幸子 北九417 末永 勉、北九419 隈部寿子 北九422 福田陽子、

門司山歩会とは3度の出会い。1回目は貫山、2回目は久住山、そして今回は大曲よりの星生山・肥前ヶ城。ミヤマキリシマを求めての山行です。久住山のとき、6月の星生山ですお手伝いを、と大楠さんにいわれ、引き受けた次第です。

6月7日(土)7:55、椎田バイパス入口の徳永交差点手前で乗車。マイクロバスは満員の23人。北九州支部からは山歩会の会員の方も含めて9人の参加です。

長者原でトイレ休憩をすませ、大曲 着が10:30。九重が一番にぎわう時 だけに路肩には車の列が。手早く出発 の準備をして、2班に分かれて10:40 登山開始。

みなさんの足並みを見ながら急登をゆっくりと登る。1499mのピーク(通称 〇一岩、聞きたい方はこっそり教えます)に11:20到着。星生新道のこのコースは静かなのだが、この日はやはり 人が多い。下山者と結構すれ違う。

だが、牧ノ戸よりの登山道を見ると、 人の列が続いている。それに比べると やはり静かではある。5~7分咲きのミ ヤマキリシマを眺め、急登もマイヅルソ ウ、コケモモ、イワカガミ、ツクシドウ ダンなどの花にいやされ、何とか登り きり12:27山頂到着。13:00までランチタイム。ミヤマキリシマの満開まであと1週間ぐらいかな? 山頂で集合写真を撮り、13:07下山開始。

牧ノ戸よりのメインルートの西千里 浜を横切り、2座目の肥前ガ城へ。な だらかな草原歩きという感じで13:55 山頂到着。白のミヤマキリシマが出迎 えてくれ、感激!!

静かな山歩きもどこへやら。牧ノ戸までは人、人の行列。韓国からのお客さんも多く、「アニョンハセヨー」の言葉が飛び交い、少々へきへきする。

可愛いチゴユリに心なごみ、3 座目の沓掛山に到着。ここは通過 地点であり、初めて登ったという方 が意外と多かった。15:30、皆さ ん無事下山。ホッと胸をなで下ろす。

九重観光ホテルで入浴。帰りの車中は初参加の方の感想を聞き、坊 ガツル讃歌を歌い、今日も楽しいひ と時を過ごすことが出来ました。

今回、にわかリーダーとして皆さんの先頭を歩き、後を振り返りつつ、ペース配分などに気をつけたつもりですが、どうだったのかな?

門司山歩会の皆様のお手伝いが 出来、とても嬉しく思っております。

9月の英彦山のときは私どものホ ームグランドです。また、よければ お手伝いさせていただきます。

山行記 門司山歩会と九重交流登山に参加

白いミヤマキリシマに感激

北九369 末 次 幸 子

6月7日 (土) 曇り。参加者23人、 マイクロバス

リーダー 西村信子 サブリーダー 大楠益弘 (2班体制)

また 凄~いの声・声 さすがにシーズ ンです! 長者原~牧ノ戸登山口まで は、車の洪水でした。

門司山歩会と九重交流登山。大曲星生山直登・登山口より西村信子リーダーのもと2班編成・最後尾大楠サブリーダーで、登山開始。急登をゆっくりとしたペースで周りの素晴らしいロケーション・お花を楽しみながら、足並みそろって山頂へ。

昼食は、南斜面で強風を避けて、 いろんな美味しいものが飛び交う中、 和気あいあいで頂きました。

硫黄山の墳煙が、少し多いような 気がしたのは、私の気のせいかしら …? 肥前ガ城で見た"白いミヤマキリシマ"この地に来なければ決して見ることができなかったと思うと、感激で胸が熱くなりました。

韓国からの登山者大勢とすれ違い ました。また、登・下山者の多さは 想像以上でした。

若い緑の木々とミヤマキリシマの 赤紫ピンク・足元の小さな可愛い花 々。愛らしい白、ツクシドウダンつつ じ、温泉、帰りの車中でのコミュニ ケーション……! ホットな素晴らし い山行でした。

さわやか西村信子リーダー、温厚な各班長さん、あつい大楠サブリーダー、温かい門司山歩会の方々、 北九州支部よりの参加の皆様、ありがとうございました。これからの楽しみな山行が、また一つ、私の心の引き出しの中に加えることができました。

山行記 特別投稿 北九州支部との合同ハイキングに参加して

手術後、まさか九重に登れるとは・・

門司山歩会 山 崎



6月7日(土)7時、門司駅前をマイ クロバスで出発、山岳会の方達と総勢 23人で、10時すぎに牧ノ戸へ到着。2 班に分かれて大曲より登り始めました。

最初は急登続きで、結構息を切らし ましたが、途中微妙にピンクの濃淡を つけたミヤマキリシマの群落を堪能しな がら、総リーダーの西村信子さんより、 コケモモ、岩カガミ、稚児ユリ等の可 れんな野の花の説明を受け、楽しく登 りました。艶かしい乳首岩という名前の 岩山からの眺めは絶景でした。

星生山の山頂で昼食を取り、肥前 ガ城へと足を伸ばしました。ミヤマキリ シマの群落の中からウグイスの声が聞 こえ、ほとんど白のミヤマキリシマの一 株に酔いしれました。

牧ノ戸への帰りの途中、たくさんの 韓国のツアーの人達とすれ違いました。 アニョンハセヨーと声をかわしつつ、 萌黄色の新緑の、力強い息吹に背中を 押されながら全員無事に下山しました。

実は私は1年半前に、心臓の大動脈 はく離を発症し、心臓の動脈を人工血 管に付け替える手術を受けました。1カ 月の入院で10数キロ体重が減り、体力 が極端に落ちてしまいました。リハビリ のつもりで裏山の風師山に登り始めて、 その延長で山歩会に入会させていただ

いたのですが、まさか九重に登れるよ うになるとは思いもしませんでした。自 然の山懐に抱かれて、回復し再生 できたように思います。 今は仕事 の都合で名古屋に住んでいます が、白いミヤマキリシマの写真を 携帯の待受け画面にし、携帯を見 るたびにその"清々とした山気" にほっとしております。

山岳会のスーパーマンやスーパ ーウーマンは、ほんとに優しくて 力持ちの方たちばかりでした。あ りがとうございました。これからも 2、3カ月に一度くらいは門司山歩 会のハイキングに参加させていた だきたいと思っております。よろし くお願いいたします。

山行記 特別投稿 北九州支部との合同ハイキングに参加して

全山ミヤマキリシマ! ~山の魅力の虜に~

門司山歩会 河 内 三 千 代

「雨が降りませんように!」 登山日が 近づくにつれて天気予報に一喜一憂す る私です。初心者登山教室の終了登山、 戸の上山が私の登山デビューでした。

わずか1年半で高嶺の花、九重連山 をこの短い足で踏破できるなんて思い もしなかったのです。指導者の方々、 お仲間の方々のおかげです。「お花が 見たい」という会の要望を聞き入れて くださって例会は第四土曜日のところ、 今回の日附けに変更していただきまし た。バスは山歩会登山始まって以来の 超満員でした。牧ノ戸でバスを降りる頃 周りの山々は、ピンクに染まっていまし た。山岳会北九州支部のベテランの方 々が加わってくださり、以前にもまして 華やかな明るい雰囲気の中、そびえ立 つ尾根を目指して登山しました。西村 信子さんの優しい心づかいの誘導でい つしか頂上に登れてしまっていました。 さまざまな緑の中にピンクの絨で後を 敷きつめたようでした。新鮮な初々し

いピンクの色でした。澄み切った広い 山並みをバックにミヤマキリシマを見ら れるなんてやはり自分の足で登ったか らこその満足感です。今回も小さなお 花の名前を教えていただきました。姫 萩、舞鶴草、岩鏡、苔桃、ツクバネウ ツギ。一層いとおしくなります。白のミ ヤマキリシマも見せていただきました。 星生山、肥前ガ城、沓掛山と3山の頂 上にタッチできました。山々の名前が 少しずつ頭に入ってくるようになりまし た。 下山して温泉に浸かり、冷たい ビールをいただき帰路のバスでは、朗 らかな、会話の弾むなか山への熱い 気持ちお聞きし、次回の登山へのさら なる期待をかみしめ、精進を心に誓い ました。

山へ導いてくださった大楠さん、山 岳会の方々に感謝申し上げます。あり がとうございました。

日本山岳会のPR運動として

No.13465 大楠 益 弘

この門司山歩会は、大里南市民センターの登山教室が母体となっている。今年で発足2年目を迎えているが、6月の山行は支部報3月号でお知らせしたように、当支部との交流登山を計画した。その結果、会としてはマイクロバスが満員状態になるくらいの、初めての盛況ぶりで、大

いに盛り上がった。講師の立場として支部会員のみなさんのご協力に感謝いたしたい。特にリーダーを務めてもらった西村信子さんは2回目(一部の会員には3回目)のことでもあり、懇親を深めることができた。紙面に制約があるのは承知の上であるが、伊藤さんには特別に配慮してもらい、

出稿数を増やすことができた。当支部会員は次のとおり。西村信子(リーダー)、馬場基介、西村俊二、大木康子、末次幸子、福田陽子、〇末永勉、〇隈部寿子(〇印は門司山歩会員でもある)の各氏。門司山歩会はビジター1人を含めて15人、総計23人であった。

日本山岳会の啓蒙運動の一環として、とらえていただければありがたいと思っている。

春山 山行記

鹿島槍・針の木縦走、敗退

No.13527 野 嶋 豊 (筆者) 花 田 六 郎



右剱岳・立山・薬師を望む

4月30日

18:20、八幡から高速道で信濃大 町に移動開始

5月1日

5:00、980Kmを運転して扇沢 の柏原新道入り口駐車場(h1330)、 まるまる太ったサルの家族が出迎え てくれた。

6:30、朝食を取り装備を確認して 歩き出すが、寝ずに運転したので頭 がくらくらする。今日は、爺ガ岳南峰 西側で雪田にテント泊の予定なので 楽勝のはず? 歩き始めて汗が出始めるころには、そこは雪山で夏道から尾根通しの道に変わる。雪を踏み抜かないようにルートを選ぶが片足、両足と取られ脱出に苦労する。気温が高く雪が腐っているし、メタボだし、食料は生ものだし、登撃道具もあるしと、泣き言をブツブツ唱えながら歩き、やっと南尾根との合流点(ジャンクションピーク、h2320)にはい上がる。目の前は、白と黒と空は抜けた青で、春はいいなー、やめられないなー。

爺ガ岳南峰(h2655)が、見えているのにキツイキツイ、小休止を繰り返しながら たどり着いて大休止。正面に大窓・小窓・槍・立山連峰、右に鹿島槍、左に針の木・左後方に穂高連山を見ながら幕営地の雪田をさがし、種池方向にh80ほど下った位置に決める。南に低気圧が近付いてきているので、雲がわき出し風も出てきた。テン場の整地を急ぐが息が上がり腰も痛い、早く横になりたい一心で3段堀を2段にし、掘り出したブロックを周囲に積み終えテン



野嶋豊氏 南尾根に立つ

トに潜りこむ。15:30本日の登山者 は我々含め5人で1人はピストンとの 事で下山する。重かったペミカンの ホルモンにキャベツをむしりながらほ うり込み野菜たっぷりの鍋で1杯。



2日、ホワイトアウト。

9:00過ぎに雲が切れ北の山が総 出演するので、鹿島槍をピストンしに 行動開始するが、爺中岳で再びホワ イトアウト、だが薄めなのとトレース がはっきりしているのでこのまま行動 続ける。

私は一晩寝ると体力を回復し元気 でいるはずだったが、10歩行って一 呼吸、100歩で立ち休み、完バテ状 態になってしまった。

冷池山荘手前は大きなクラックが 入っている。落ちると凄い音がする だろうと想像しながら通過する。

昨日の夫婦はテントを張っていな かったので小屋に飛び込んだみた い。小屋から山頂まで、雷鳥が行っ たり来たりして、しっかり歩けと言い

たげな視線 を私に投げ て横切る。 いつか焼き 鳥にしてや る!! 相変ら ず視界は2、 30m位で先 が 見にくくト ボトボ登って いると昨日 の夫婦が下 りてきた。話 を聞くとテント を張る元気が

なく、小屋に泊まったとの事で今日 はテントを張る予定のようだ。このル ートは傾斜が緩やかで楽のはずだ が、息は上がるが足が上がらん。相 方は待ちくたびれて、手持ち無さた の様子に私は、すまんと思いつつ一 歩を踏み出し何とか山頂に立ったが、 視界が一層悪くなり雪に埋もれた山 頂標識(2889) の写真を撮って下 山開始。

雷鳥の冷たい視線を感じながらひ たすら歩き最低あん部 (2387m) か らが登り返しで、雪が悪くなって踏み 込むと水が出る始末、最悪だ。予定 の3割増しの時間を掛けてやっとテン トにたどり着く(16:50)。

相当に気温が高いのだろう、這松 も体を出し昨日積んでいたブロック は、ほとんど姿を消し風が直接テン トに当たっている。水みたいな雪な ので雪溶かしに時間が掛からないの で助かる。

明日からの2日間で針の木縦走 登攀は、私の状況では無理なので 下山することにした。花田氏には悪 いことしてしまったが、4日分の食料 が残るので、今日は宴会だ。魚・肉 ・野菜・神経使ってあげた豆腐2丁

・生ものは、全部腹の中へ入れるべ く、調理も飲むのもいそがしい。

3日、早朝快晴、のちガス。

撤収をのんびりしながら写真を撮 り、剱岳の北方りょう線をいつまでも 眺めている。山は逃げないが体力は 確実に逃げる。赤谷(アカタン)・大 窓小窓・三の窓、見るだけの自分が 悔しい。

9:00下山開始。もう三叉路付近 が行列になって、山はにぎやかにな り始めた。負け惜しみだが、今日降 りて正解みたいで静かな山を満喫で きた。すれちがいの人たちに挨拶す るのもくたびれ、13:30やっと車に 帰る。

濡(ぬ) れた装備をそこいらに広げ、 乾かしている間に昼食の準備をする。

大町温泉郷の薬師湯で垢を落と し、渋滞を避けながら糸魚川に出て スーパーでビールと刺身を仕込み、 うなずき道の駅でまた宴会。本物の ビールはうまい

4日、晴れ。

黒部インターから高速に乗り敦賀イン ターで降り、一般道で小浜インター から高速に乗り閑散とした道を、北九 州へ完ぺきに渋滞をかわし帰宅。

☆ 今回の反省

- 1、体力の回復が遅いのは日々の不 摂生だが、不思議に胃の腑は回復 する。
- 2、北には若者がたくさんいる。彼ら は板を付けるスタイルだが、雪を 良く理解して、最小装備で楽しん でいる姿がたのもしい。古いクラ イミングスタイルから離れ、生き 残るための古い技術と最新の科学 を融合させ、縦横に山を楽しん でいる姿にエールを送る。

来年は邪魔にされなければ一時 でもいいから、彼らと一緒に行動 できればいいな。

◇◇◇報告・連絡など◇◇◇

JAC講演記録(DVD)の案内

(社)日本山岳会 創立100周年記念連続講演会「語り継ぐ黎明期の登山・・・それぞれの山」

この度(3月)、日本山岳会資料映像委員会より、連続 講演会の内容を編集したDVDが全国の支部へ寄贈され ました。内容は次の通りです。

第1回 堀 田 弥 一 名誉会員 「山に生きて94年・立山からヒマラヤへ」 2003年10月16日 講演

第2回 渡 辺 兵 力 名誉会員 「山への想い・山に残した足音」 2004年4月3日 講演

第3回 坂 倉 登喜子 名誉会員 「女が山に登る時・花への思いを馳せて」 2004年10月6日 講演

第4回 村 山 雅 美 名誉会員 「穂高からマナスルへ・そして南極へ」 2005年4月25日 講演

第5回 松 丸 秀 夫 名誉会員 「山日記から見えてくる日本山岳会」

以上5本ですが、事務局で保管しております。希望の会員は貸し出しをします。(事務局 関口)

北九州支部の皆様へ

支部長 大 庭 常 生

支部創立10周年記念事業

梅雨のうっとうしい日々が続いておりますが、皆様にはいかがお過ごしですか。2年後、支部創立10周年の節目を迎えることになります。

10周年を機に、支部として記念事業を実施したいと考えておりますが、海外へでかけるのも一つのアイデイアかと思います。

そこで、6月25日のサロンに、海外の事情に詳しい 福岡支部の渡部事務局長をお招きし、一般のツアー 旅行でない支部独自の登山・トレッキングを行う場合 の基本的な取り組み方について、大変有益なお話をし ていただきました。そのあと、参加者全員から個別に希 望先、山行形態、日程に対する制約などに関する意見が 述べられました。

今後、いろいろな機会をとらえ、皆様の意見をお聞き しながら、具体的な計画を立案していきたいと思います。 ご意見、ご希望がありましたら、役員なり事務局までご自 由にお寄せ下さい。よろしくお願いします。

中央分水嶺踏査報告書 残りわずか

創立100周年記念事業として、発刊された日本列島 「中央分水嶺」踏査報告書(2007年1月発刊)の入手ご 希望の方は、事務局までご連絡下さい。

北は宗谷岬から南は佐多岬まで、全国25支部(踏査 当時)と首都圏の会員が3年弱の期間をかけ中央分水 嶺を踏査した壮大な記録です。

販売価格:会員向け 1,200円

非会員向け 2,000円

事務局: 関口 (FAX電話: 093-382-6436)

以上

海外記念山行の検討会21人参加

2年後、北九州支部が創立10周年を迎えることから、それを記念する海外山行の検討会が6月25日のサロンルームでひらかれた。当日は福岡支部の事務局長渡部秀樹氏(アルパイン ツアー サービス(株)福岡営業所長)を招いて、海外山行の取り組み方などについて話をしていただいた。

記念山行は会の親睦のためか、調査研究目的か、会の独自性追求かなど、テーマでことなる。形態で分けると本格的なピークを目指す登山(モンブラン、マッターホルンなど)、健脚向きの登頂ツアー(キリマンジャロ、キナバル山、玉山など)、トレッキング(ネパール、ニュージランドなど)、一般向きのハイキング(ホテルやロッジをベースにして日帰り)などに分けられる。方法では既定のツアーに参加するのか、オーダーメード企画か。日本からのツアーリーダーの同行の有無。現地ガイドの有無。時期・季節では目的地やシーズン、南半球と北半球の関係、雨期乾季の関係などに左右される。申込み確定時期では、南米のインカトレイルなどは半年前に締め切られるところもある。ミルフォードトラックでは3カ月前までで、さらに人数の制限もある。予算は参加人数により変わってくる。通常は参加人数と旅行代金は反比例する・・などの説明を受けた。

次に参加者各人から希望や質問があった。希望は世界各地いろいろ出たが、登山では福岡支部が踏査を実施したカンリガルポ山群の5000m級の未踏峰に登りたいなどや、何も海外に行かなくても・・などの意見もあった。

今回は、第1回目の検討会として、会員の考えを絞り込んでいき、多くの会員が参加できるような10周年記念山行になればと思っている。(伊藤Q)

サロン参加者(21人) 大庭常生、日向祥剛、原 広美、大楠益弘、板倉健一、伊藤久次郎、西村信子、野鳴 豊、馬場基介、高畠拓生、関口興洋、藤田 傳、横山洋子、室津健次、山田武史、高城季美子、牧 寛、大木康子、坂本むつみ、坂本千佐子、萩尾常利





(最近の新聞記事などから)

76歳エベレスト登頂 75歳三浦さん先越される

76歳のネパール人男性ミン・バハドゥール・シェル チャンさんが5月25日、世界最高峰エベレストの登頂に 成功し、最高齢登頂記録を更新した。

これまでの記録保持者は昨年5月に71歳で登頂した 長野県出身の柳沢勝輔さん(72)。75歳の三浦雄一郎さ んが26日にも登頂を目指しており、成功すれば世界記 録を更新するところだったが先を越された。

(5月25日 西日本新聞)

岩手支部、地震に遭遇 8人負傷

6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で、岩手支部 「胆沢ダム水資源のブナ原生林を守る会」の参加者を乗 せたマイクロバスが、地震に遭遇。菊池支部長以下8人の 方が負傷された。以下は、小野寺正英会員(岩手支部事 務局)からのメール。

6月14日「春の観察会、寺屋敷発掘調査地の見学 {仙北街道~秋田~衣川~平泉、漆の道散策}」

集合地8:00出発。8:40分頃シラキリ沢林道通過中、 突然進行方向右斜面から土砂が樹木と共にバスを直撃、 バスが1m程谷川に押され押され傾いて停止した。バスが 上下に激しく振動するので地震と判断。土砂で半分埋めら れた山側のガラス窓から小野寺が先に出て参加者を外に 引き出した。12人が窓から出た時、激しい余震が続き傾 いていたバスは谷川に横転して落下、残っていた菊池支部 長、近藤会員含め8人が負傷した。8人中6人は重傷、全 員がヘリによって救出された。

菊池支部長は重傷でしたが、病院へ搬送、処置した後 は回復に向かっております。会員の皆様にご心配をおかけ した事深くお詫び申し上げます。

宮下会長、宮崎常務理事はじめ、多くの会員の皆様か ら励ましのお言葉を頂きありがとうございます。今後につき ましては、状況を見守りながら皆様の助言を仰ぎながら対 処してまいります。

岩手支部事務局 小野寺 正英 (胆沢ダム水資源のブナ原生林を守る会 事務局)

(日本山岳会だより [号外] 08/6/16から)

福智山「荒宿荘」で最後の法要

直方市、福智町、北九州市にまたがる福智山(901m)の 山頂付近にある山小屋「荒 宿荘」で2日、北アルプス劔 岳(2,999m)で1967年に遭難し亡くなった北九州市の荒木 乗勝さん=当時(27)=と、糸田町の宿利元博さん=(同22) =の法要があった。2人が所属していた「筑豊山の会」(太 田徹哉会長)が、荒宿荘での最後の法要を営んだ。

事故の後、同会は、2人がこよなく愛した福智山で事故 があってはならないと73年、避難小屋を建設。2人の名字 から1字ずつ取り、「荒宿荘」と命名。

しかし荒宿荘は今年、築35年で、老朽化が激しくな った。会員も高齢化していることから、「供養にひと区切 りを」と、最初の法要で読経した直方市の住職を招い て法要となった。

宝満山にバイオトイレ 9月完成予定

福岡県太宰府市と筑紫野市の境にそびえる九州百名山 の宝満山(829m)山頂付近にあるトイレを、微生物で汚物を 分解するバイオトイレに改修する工事が始まった。9月に完 成する見込み。西日本鉄道が創立100周年記念事業として 改修し、トイレを所有するふもとの竈門神社に寄贈する。

山頂そばのキャンプセンターにある現在のトイレは、西 鉄の社員・OBで組織する西鉄山友会(伊藤博紀会長、 20人)が1992年に同神社に寄贈、管理している。排せつ 物が地下に浸透する掘り込み式のため、年間約30万人の 登山者がいる宝満山では利用者が多く、地下水を汚染す る恐れも懸念されていた。

バイオトイレの工事費は、2,700万円、6月7日に着工、 ヘリで資材を搬入する。改修後も西鉄山友会が管理する。

(6月21日 西日本新聞)

秩父安全山歩き検定 登山愛好家143人が挑戦(埼玉)

秩父の山で多発する中高年の山岳遭難防止を狙った「秩 父安全山歩き検定」が6月28日、秩父市立秩父第一小の 体育館で実施された。親しみやすい秩父の山々にも危険 が多いことを知ってもらうため秩父、小鹿野両署と秩父山 岳連盟が行った初の検定試験で、143人がチャレンジした。

県内を中心に、都内などからも19~79歳の登山愛好者 らが参加。「登山計画書の提出先」「登山に携行装備する 物で説明の誤り」「雪に遭遇した場合の安全な対処方法」 など登山方法や秩父山系に関する4者択一式の50間に挑 戦した。50点満点の3人には1級の認定証と刺しゅう入りの ワッペンが贈られた。2級55人、3級48人にも認定証が発 行された。

秩父署によると秩父の山々には年間約20万人が訪れる。 昨年は滑落、道迷いなど36件の山岳事故が発生し、5人 が死亡、17人が重軽傷を負った。事故に遭った8割 以上が中高年だった。

(6月29日 毎日新聞)

山行計画のご案内

6月の山行

祖母山キャンプ(6/21~22)は、大雨のため、中止になりました。(原)

古処山(860m)・屏山(927m)縦走 キツネノカミソリ観賞 7月の山行

き: 平成20年7月27日(日) 集 合: 秋月キャンプ場 9時

交通手段: マイカー

程: 秋月キャンプ場~5合目林道~水舟~ツゲ原生林~縦走路分岐~屏山~

古処山~八丁越~だんご庵~秋月キャンプ場 (歩行時間:約5時間)

申し込み: 7月20日まで、西村信子 (TEL·FAX 0930-33-4618) へ。

交通手段のない方には相談に応じます。

8月の山行 お休み

9月**の**山行 由布岳(1,584m)お鉢回り(9/7)

き:平成20年9月7日(日)

合:由布岳正面登山口 09:30

交通手段:マイカー

程:正面登山口~日向越~東峰~西峰~東峰~マタエより

正面ルートを下山~正面登山口 (歩行時間:約6時間)

申し込み:8月25日まで、山田 武史 (TEL/FAX 092-844-3563) へ。

門司山歩会と交流 戸/上山、藤松渓流コース登山の案内

大 楠 益 弘 No.13465

北九州支部では、10月の全国支部懇談会の関係で、8月の山行はお休みしますが、門司山歩会では、8 月も山行を実施します。暑いさなかであるので、涼しい渓流コースを選びました。門司随一の渓流コースで、 初めての人には新しい発見と喜んでいただけると思います。ご都合のつく会員はぜひ参加をお待

8月23日(土)8:30~14:00 とき

集合場所 門司藤松大翔館高校バス停前

(門司からは、駅前ミスタードーナツ横バス停47番8:05発バス)

コース 藤松~加藤神社~藤松尾根~大台ヶ原~戸ノ上山~寺内~戸ノ上神社前

申込先 8月9日(土) まで、大楠益弘(TEL090-3196-8939 FAX093-371-4933) へ

サロン ルーム

毎月第4水曜日

毎回盛況、ご参加歓迎!

7月のサロンは、23日(水) 8月のサロンは、27日(水)

と き 午後6時30分から

ところ 小倉北区魚町「コール天」

(魚町銀天街、酒房武蔵より西へ約30m)

会 費 3,000円前後(ワリカン制です)

編集後記

○全国支部懇の北九州開催が、も うすぐやってきます。わが支部にとっ

て初めての経験でもあり、全会員あげて成功させたいと思い ます。また、その次は支部創立10周年を迎えます。支部懇 の体験を生かして、会員一致で頑張りましょう。

○ただ今、中央分水嶺の思い出記録をまとめております。 本部宛の報告書60件を含め、200ページくらいになるよう です。9月末発行を目指して、1日8時間奮闘中です。Q

○原稿は関口事務局または、伊藤Qまで。

伊藤のアドレス rw4ux6@bma.biglobe.ne.jp です。 デジカメ写真は縮小せず添付で送って下さい。

○次回の原稿締め切りは、8月25日です。